

プロ必須のテクニカル分析を  
マスターしよう。



2017年冬期

# テクニカルアナリスト資格 第1次通信教育講座のご案内

受講申込締切：2017年11月17日(金)

開講期間：2017年12月～2018年4月(5ヵ月)

## ■ ご案内

テクニカルアナリスト資格には第1次資格・第2次資格・第3次資格の3段階があります。今回のご案内は、第1次資格取得のために必要な「第1次通信教育講座」に関するものです。当講座では、証券投資に関する基礎知識とテクニカル分析の基本的な考え方を学んでいただきます。受講修了者には、第1次資格試験受験資格が与えられます。合格し協会正会員になりますとCMTA®の資格が与えられます。



### ■ 第1次通信教育講座(夏期)の募集概要

- ①募集期間：2017年10月2日(月)～11月17日(金)
- ②開講期間：2017年12月～2018年4月
- ③受講料：54,000円(税込)※2017年8月末現在。募集締切日までにお振込みください。
- ④申込方法：原則として、当協会ホームページよりインターネットでお申し込みください。  
会社単位で申し込む場合、インターネットでの申し込みではない場合は  
当協会事務局迄ご連絡ください。(NTAA事務局 TEL:03-5847-2231 平日9:00～17:00)
- ⑤振込先：三菱東京UFJ銀行 日本橋支店 普通預金 NO.2017789  
特定非営利活動法人 日本テクニカルアナリスト協会  
トクヒニホンテクニカルアナリストキョウカイ  
※振込手数料は申込者負担となります。
- ⑥中途解約：受講者が、やむをえない事由により受講を辞退した場合の取り扱いは以下の通りです。
  - a.教材等発送前の申出は全額返還します。
  - b.教材等発送後の申出は当協会の規程に基づき返還します。

### ■ 第1次通信教育講座の概要

通信教育テキストは、2分冊からなっており、当協会より受講者の皆様へ開講前に送付します。

#### 第1分冊

テクニカル分析を取り巻く環境と一部のテクニカル分析手法を学びます。以下は第1分冊の目次です。

- I. テクニカル分析とファンダメンタル分析の関係    II. 日本経済と株価    III. 企業業績と株価  
IV. 市場全体の分析    V. テクニカル分析(トレンド分析、移動平均線、モメンタム分析、フォーメーション分析、売買高分析)

#### 第2分冊

さまざまなテクニカル分析の手法を学びます。以下は第2分冊の目次です。

- V. テクニカル分析(オシレーター分析、サイクル分析、ローソク足、ダウ理論、一目均衡表、エリオット波動論)  
VI. 需給分析(投資部門別状況、仮需、投資家心理)

#### サブテキスト

\*必須参考文献としてご用意ください。

「日本テクニカル分析大全」

日本テクニカルアナリスト協会編 日本経済新聞出版社発行 定価6,500円+税

## ■【参考】テクニカルアナリスト資格の全体像

		第1次資格 CMTA <sup>®</sup>	第2次資格 CFTA (IFTA CFTe <sup>®</sup> )	IFTA 第3次資格 MFTA <sup>®</sup>
通 信 教 育	受講資格	なし	CMTA <sup>®</sup> 資格保有者かつ 当協会会員	
	募集日時	4~5月(夏期) 10~11月(冬期)	2月~3月	
	受講期間	6~10月(夏期) 12~4月(冬期)	4月~8月	
	練習問題	全5回	全5回	
	受講料	54,000円(税込)	54,000円(税込)	
資 格 認 定 試 験	受験資格	上記講座の受講修了者 ( <b>全ての答案を提出</b> ) ( <b>初回受講後3年以内</b> )	CMTA <sup>®</sup> 資格保有者かつ 上記講座の受講修了者 ( <b>同左</b> )	CFTe <sup>®</sup> 資格保有者かつ 当協会会員
	試験形式	選択式 120分	小論文形式 180分	概要提出と本論文提出
	試験時期	毎年2回 1月と7月	毎年1回 11月	毎年2回 4月と9月
	受験料	10,800円(税込)	21,600円(税込)	950米ドル
	資格名	日本テクニカルアナリスト協会 認定テクニカルアナリスト <b>略称 CMTA<sup>®</sup></b> (Certified Member of The Nippon Technical Analysts Association) NTAA 1,930名	国際テクニカルアナリスト連盟 認定テクニカルアナリスト <b>略称 CFTe<sup>®</sup></b> (Certified Financial Technician) NTAA 545名	国際テクニカルアナリスト連盟 検定テクニカルアナリスト <b>略称 MFTA<sup>®</sup></b> (Master of Financial Technical Analysis) 140名のうちNTAA 52名
到達目標	テクニカル分析に関する 基本的な知識および 使用方法を習得している	テクニカル分析を用いた 適切な現状判断と投資判断が でき、マーケット・レポートが 作成できる	国際テクニカルアナリスト 連盟の知識データベースに 新たな視点を加える	
主な受講者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金融機関職員(営業、調査、ファンドマネージャー、ディーラー他)</li> <li>・調査情報機関職員 ・マスコミ関係者 ・教育関係者</li> <li>・学生 ・テクニカル分析に興味のある方 ・個人投資家他</li> </ul>			

※受講料及び受験料は、2017年8月末現在です。  
※資格保有者人数は、2017年3月末現在です。

## ■ 日本テクニカルアナリスト協会について

マーケットに向き合う時に大切なことは、相場を取り巻く環境を知ることと、相場の方向性および売買のタイミングを知ることの双方です。前者はファンダメンタル分析が向いており、後者はテクニカル分析が向いているといわれます。的確な市場分析には両者が不可欠であり、「車の両輪」と言われるゆえんです。1人でも多くの方に「テクニカル分析」の知識を理解していただき、健全なマーケットの発展に寄与していただくことを期待したいと願い、テクニカル分析の教育と普及啓発を目的として日本テクニカルアナリスト協会(NTAA)は設立されました。当協会は、国際テクニカルアナリスト連盟(IFTA)を創設した協会の1つでもあります。

## ■ 第1次通信教育講座開講にあたって

日本テクニカルアナリスト協会は、1998年より資格制度を開始しました。同時に、受験資格として本通信教育講座の受講を義務づけております。

我が国のテクニカルアナリスト資格試験制度は、国際機関であるIFTAとNTAAが協力しながら行っています。合格者に与えられるテクニカルアナリスト資格は、国際資格であっても国家資格ではありません。

テクニカルアナリスト資格試験には3段階があります。第1次資格(CMTA<sup>®</sup>)試験と第2次資格(CFTA)試験は、NTAAが日本語で行います。そして、第2次資格試験の合格者CFTAは、IFTAへ登録すると国際資格CFTe<sup>®</sup>として認定されます。第3次資格試験は、IFTAが英語で行う論文試験で行われます。

本通信教育講座はCMTA<sup>®</sup>取得のためのものです。資格試験を受験するためには本通信講座を受講し修了することを義務づけております。本講座受講修了後3年以内は受験資格が与えられるので、翌年・翌々年も受験が可能ですが、極力早期に合格されるようお勧めします。また、CMTA<sup>®</sup>取得後はなるべく早めにCFTA(IFTA CFTe<sup>®</sup>)取得にチャレンジされ、さらに高いステージへとお進みください。単にテクニカル分析の用語の意味を理解するだけでなく、その知識を活用した応用編へと進まれることが大切なことと考えるからです。



国際テクニカルアナリスト連盟(IFTA)加盟  
**日本テクニカルアナリスト協会<sup>®</sup>**  
特定非営利活動法人(NPO法人)

〒103-0026

東京都中央区日本橋兜町3-3

TEL:03-5847-2231 平日9:00~17:00

URL:<http://www.ntaa.or.jp>

E-Mail:[office@ntaa.or.jp](mailto:office@ntaa.or.jp)

